

子どもの貧困問題に取り組み
大分市の公益財団法人理事長

藤井 富生さん(74)



ひと

2016年から大分、別府、豊後大野3市の6カ所で子ども食堂「すみれ学級」を運営する。経済的な理由で十分な栄養が取れなかったり、親の帰りが遅い小中学生に食事と学習指導の場を提供。「子どもたちと喜びを共にしたい。草の根の活動を続けて社会に潜む問題に光を当てるのが使命」

経済的困窮などから生理用品を買えない「生理の貧困」問題にもいち早く着目。大手メーカーに支

食事と学習指導の場提供

援を求め、18年から食堂を利用する女子児童・生徒に生理用品の無償配布を始めた。取り組みは県内の自治体に広がっている。

本業は県内に12店を展開する調剤薬局の社長。熊本県産山村で生まれ、幼い頃から論語や海外文学に親しんだ。西南学院大では学生自治会の委員長として反戦運動の先頭に。ベトナム戦争が泥沼化する中、デモで逮捕されたことも。

その後、未来に展望を見いだせず体調不良に。大分市の天心堂へつき病院で療養生活に入った。紹介したのは、後にアフガニスタンで非業の死を遂げる中村哲医師だった。生きる力を取り戻し、同病院の松本文六元理事長の秘書などを務め、48歳で起業した。

生まれ故郷の温かみあるイントネーション、ざっくばらんで明快な語り口。「市井の人に寄り添う」との信念がにじむ。1男1女は独立、妻と同市で暮らす。

(藤沢香)